

平成 22 年 8 月 18 日

あきる野市議会議長殿

あきる野市議会議員 たばたあずみ

一 般 質 問 通 告 書

次の事項について、会議規則第 63 条 2 項により質問の通告をします。

質 問 事 項	質 問 要 旨 ( 箇 条 書 )
(1) 地上デジタルテレビへの市の取り組みは	<p>2011 年 7 月の地上デジタル完全移行に向けて、切り替えがすすめられている。当市でも五日市地区の山間部の受信困難地域には、東京電力から譲り受けた共聴アンテナの整備がすすめられている。</p> <p>①山間部以外に受信困難な地域はあるか。また、それらの地区について、受信を援助する手立てを取るべきと考えるがどうか。</p> <p>②アンテナの設置、テレビの買い替えなど経済的な負担が大きいが、生活保護受給世帯やその他経済困難な世帯について、どのような支援策を行っているか。</p> <p>③当市において、完全移行までの切り替え完了は可能とみているか。</p>
(2) 難聴者のため磁気ループの設置を	<p>高齢化社会を迎え、いまや老人性難聴者は全国で約 1 千万人、国民 10 人にひとりが高齢難聴者だといわれている。難聴はコミュニケーションを阻害し、社会・家族からの孤立を生み、閉じこもり・認知症の引き金にもなりうる。難聴であっても、いきいきとした人生を送れるよう、難聴者が目的の音声を聞きとりやすくするための集団補聴システムである磁気 (ヒアリング) ループを、公民館・キララホールなど主要施設や市役所に設置すべきではないか。</p>
(3) 5 歳児健診の新設を	<p>軽度の発達障害は小中学生の 6.3%にあると言われている。こどもの発達障害はいじめや不登校の原因になったり、学級運営にも影響をきたすなど、問題が起こってからでは対応がむずかしくなることも少なくない。早期に発達障害を発見し、適切な対応をとることでこどもも落ち着き、幼稚園や保育園、学校でも配慮しやすくなる。全国でも 5 歳児健診をはじめると自治体が増えている。当市でも実施できないか。</p>